

海老名市教育委員会

(令和7年 1月 定例会議事日程)

日時 令和7年1月24日(金)

午後3時30分 から

場所 えびなこどもセンター 2階 201会議室

【教育長報告】

【報告事項】

日程第 1 報告第 1 号 令和6年度海老名市一般会計補正予算(第8号)のうち教育に関する部分に係る意見の申出について

【報告事項(非公開予定)】

日程第 2 報告第 2 号 海老名市学校給食費に関する条例の一部改正について

海老名市教育委員会

令和6年度

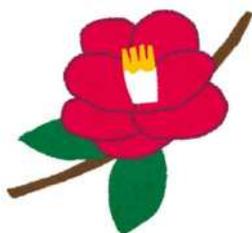
1月定例会



【教育長報告】

1 主な事業報告

- 12月 20日(金) 教育委員会12月定例会
教育課題研究会
- 23日(月) 相模国分寺史跡保存活用部会
転任希望教職員面接
- 24日(火) 第二学期終業式
朝のあいさつ運動(有馬小・有馬中)
最高経営会議
自治体DX戦略本部会議
- 25日(水) 転任希望教職員面接
- 27日(金) 仕事納め
- 30日(日) 29日発生事案への対策会議
- 令和7年
- 1月 6日(月) 仕事始め式・職員表彰
臨時最高経営会議
年末年始発生事案への対策会議
学童保育事業者との面談
教育委員会所管施設への新年のあいさつ
- 7日(火) 県教委面談(インクルーシブ教育について)
県教委出向者との面談
- 8日(水) 第三学期始業式
朝のあいさつ運動(杉久保小・大谷中)
市長年頭記者会見
県立高校3校合唱部訪問
学校訪問(海老名小中・海西中)



- 10日(金) 市長・教育委員会・学校長賀詞交換会
1月校長会議
令和7年第1回海老名市議会臨時会
えびな古里昔語りの会
15市学校教育課長会議
- 12日(日) 海老名市消防出初式(中学校吹奏楽部出演)
人権作文・ポスター・平和の絵表彰式
- 13日(月) 海老名市二十歳の祝典
- 14日(火) 県教委面談(教員の働き方改革について)
フルインクルーシブ教育対話の場(社家小)
海西中生徒ご逝去に係る通夜式
- 15日(水) 東柏ヶ谷小三世代グランドゴルフ大会
フルインクルーシブ教育調査研究部会
小中学生姉妹都市交流報告会
- 16日(木) 1月教頭会議
関東地区都市教育長協議会理事会(高崎)
- 18日(土) 単P会長会
- 19日(日) えびな古里昔語りの会
- 21日(火) 社会教育委員会議
外国語教育推進協議会
- 22日(水) 初任者授業参観(東柏ヶ谷小)
保護者負担経費の在り方検討委員会
- 23日(木) 海老名市フルインクルーシブ教育推進協議会
合格祈願豆腐贈呈セレモニー
- 24日(金) 教育委員会1月定例会
教育課題研究会
セラピー犬派遣見学(上星小)
最高経営会議
自治体DX戦略本部会議





2 教員の頃をふり返って

私は、教員として、多くの子どもと出会い、少しでも、その成長にかかわることができたことを、ありがたく思っています。

しかしながら、ふり返ると、子どもたちに申し訳なかったなあと反省することが多々あります。

特に、子どもたちの前に立ちはじめた頃は、どちらかというと、子どもひとりひとりの成長というより、学級としての集団のあり方を追い求めるあまり、集団の中で、ひとりひとりはこちらであるべきという思いが強く、先導的な指導していたことから、子どもたちひとりひとは、懸命にがんばっていたのですが、私の基準にそぐわない子どもには、辛い思いをさせたなあと反省するところです。

そして、自分なりに授業のあり方を勉強したり、先輩たちに示唆を受けたり、我が子を授かったりする中で、子どもたちの姿から、さまざまなことを気づかせられました。

まずは、子どもひとりひとは唯一無二の尊い存在であるということ、言葉ではなく、実感できるようになりました。

そのうえで、学級の集団は、その子どもひとりひとりの持ち分・個性がかかわりあって、作用し合って、形づくられるものであり、私は、子どもたちより長く生きてきた人として、教職員の使命として、あるべきよりよい形を、めざす姿として示すのですが、子どもたちを信じて、子どもたちが作る集団を、丸ごと受け入れるようにしました。

もちろん、それが私の仕事でしたから、子どもたちがみんなで作る学級のために、手だてとして、子どもひとりひとりへの支援は、生活や学習面において、時間をかけてていねいに行い、ひとりひとりの子どものかかわりをたいせつにしました。

そして、今でも、学校行事や授業研究で学校を訪問すると、私は、そのクセが抜けず、全体よりもひとりひとりの子どもが気になって、よくひとりひとりの顔を見渡しているのです。

私は、まだまだですが、子どもたちの成長にかかわって、自分も成長できたことを、あの頃ともに過ごした子どもたちに感謝するのです。

以上です。

※別紙資料 教職員への便り

令和6年度 「いがすたいがすた」 第9号（12月号）

「いがすたいがすた」 第10号（1月号）



いがすた いがすた

教育長だより 第9号
2024.12.23 伊藤 文康

明日が、第二学期の終業式となります。

みなさん、明日の準備はいかがでしょうか。

第二学期をふり返って、こどもたちにどんな話をするのでしょうか。

こどもたちの頭の中は、冬休み、クリスマス・お正月などの楽しみでいっぱいでしょうが、みなさんには、長い第二学期の、学習や学校行事、学校生活での、ひとりひとりのガンバリを伝えて、学期を閉じてほしいと思うところです。

よろしくをお願いします。

今回の冬季休業中は、12月25日から1月6日までの13日間を学校閉庁日としました。世間では、奇跡の9日間として、海外旅行等に出掛ける人の数が増加するだろうとの報道がなされているところですが、みなさんには、まずは、ゆっくり休んで、第二学期の疲れを癒してほしいと思うところです。そのうえで、仕事から離れて、仕事を忘れて、自分の時間を、家族や友人などとの時間を、いっぱい楽しんでほしいと願うところです。

私は、震災前は、宮城県の田舎に帰って、太平洋、三陸の海から昇る初日の出に手を合わせていましたが、震災後、母と綾瀬でいっしょに住むようになってからは、伊豆の海に出掛けて、初日の出に、新たな年の願いや決意を伝える子どもの頃からの習わしを続けています。

それでは、みなさん、第二学期、本当に、ありがとうございました。

ひとりひとりのステキな冬休みをお過ごしください。

そして、よいお年をお迎えください。

『新たな気持ちで』

私自身のことをたよりで紹介して恐縮ですが、私は、自分が、いい加減でどうしようもない非力な人間であることをよく知っています。

それでも、節目、節目には、自分の有様をふり返って、自分なりに、自分をよりよく変えようと、あれこれ、もがくのです。

元旦の朝、初日の出に手を合わせることは、こどもの頃から続けてきたことで、私にとっては、そのための一番の機会なのです。

最近、だいぶ歳を重ねてきたので、まずは、自分のまわりの人たちの健康を願います。その後に、自分が新たな年に、自分の生き方や職務として成し遂げる目標を、ブツブツと太陽に向かって話すのです。

毎年、大みそかまで、何を話すか、誓うかを、じっくり考えます。

そして、私なりに、新たな気持ちで、2025年を歩みはじめるのです。





いがすた いがすた

教育長だより 第10号

2025.1.7 伊藤 文康

あけましておめでとうございます

みなさん、年末年始、少しはゆっくりできたでしょうか。
楽しい時間を過ごせたでしょうか。
リフレッシュできたでしょうか。
新たな気持ちで新年を迎えることができたでしょうか。
2025年、令和7年も、海老名のこどもたち・学校をよろしくお願ひ
します。

そして、明日から、第三学期がはじます。
また、にぎやかで、あわただしい学校の日常がはじまります。
一年のまとめの三学期、卒業式、修了式をめざして、寒さの向こうの春
まで、何より、自分の健康を最優先にして、日々の学校教育活動をよろし
くお願ひします。

さて、ご承知のとおり、この冬休みに、市内の小中学校の4人のこども
の尊い命が失われるという悲しい出来事が起こりました。

明日の始業式、みなさんをお願いするのは、長期休明けにこれまでも対
応していただいています。ひとりひとりのこどもの様子をよく見ていた
だいて、声をかけ、話を聞いて、学校生活のリスタートを支えてほしいと
いうことです。

4人のこどもが在籍していた学校のみなさんには、みなさん自身が深く
悲しい思いの中にあることは察するところですが、ここは、何より、こど
もたちの心のケアを最優先に対応していただければと思うところです。

それでは、あらためて、第三学期、よろしくお願ひします。

『伝えること』

教育を生業とする私たちのひとつの大きな役割は、こどもたちに、人生
の先輩として、これまでの自分の経験から、人として生きるうえで、友だ
ちとともに過ごすうえで、困難を乗り越えるうえで、たいせつなことを伝
えることです。みなさん自身が、この方がよりよいと思うことや、問題の
解決方法などを伝えることです。何より、みなさんのその時々のお気持ち
を伝えることです。

けっして、それをこどもたちがどう受け止めるかを強制的に問うことな
く、こどもたちに伝えることをくり返してほしいものです。

教育は、ある意味、よりよい生き方を伝えることだと私は考えるのです。



報告第 1 号

令和6年度海老名市一般会計補正予算（第8号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について

令和6年度海老名市一般会計補正予算（第8号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教委規則第2号）第3条第1項の規定により臨時に代理し申出したので、同条第2項の規定により報告する。

令和7年1月24日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤 文康

報告理由

令和6年度海老名市一般会計補正予算（第8号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出を行ったため

令和6年度海老名市一般会計補正予算（第8号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について

1 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、海老名市長から意見を求められたため、異論なしとして申出を行った。

2 教育長の臨時代理

令和7年第1回海老名市議会臨時会に上程する補正予算案について、1月6日付けで市長から意見を求められたが、その対応に急施を要したことから、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、教育長が臨時に代理し、申出を行った。

3 意見を求められた議会の議決を経るべき案件

令和6年度海老名市一般会計補正予算（第8号）のうち教育に関する部分

4 海老名市長からの文書

別紙のとおり

5 教育委員会からの申出文書

別紙のとおり

6 根拠法令（抜粋）

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第29条 地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合には、教育委員会の意見をきかなければならない。



海文発第17号
令和7年1月6日

海老名市教育委員会 殿

海老名市長 内 野



令和6年度海老名市一般会計補正予算（第8号）のうち教育に関する事務に係る部分の意見を求めることについて

このことについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、令和6年度海老名市一般会計補正予算（第8号）のうち教育に関する部分について、貴教育委員会の意見を求める。

事務担当 文書法制課 土屋 内線5262

海教総収第 464 号

令和 7 年 1 月 6 日

海老名市長 内 野 優 殿

海老名市教育委員会



令和 6 年度海老名市一般会計補正予算（第 8 号）のうち教育に関する
部分に係る意見の申出について

令和 7 年 1 月 6 日付け海文発第 17 号にて意見照会があった件については、異論あ
りません。

担当：教育総務課総務係

片山（内線 84-611）

令和6年度 海老名市一般会計補正予算（第8号）【教育委員会所管部分】

1 歳入歳出予算補正

(1) 歳入

(単位：千円)

款・項・目・節・細節	所管課	補正前額	補正額	補正後額	説明
14 国庫支出金	—	10,400,715	920,055	11,320,770	
2 国庫補助金	—	2,509,678	918,404	3,428,082	
6 教育費国庫補助金	—	276,356	244,183	520,539	
2 小学校費補助金	—	52,883	103,735	156,618	
27 小学校施設改修事業費	教育総務課	48,686	103,735	152,421	国の補正予算に伴い補助金を活用し、翌年度以降の事業を前倒しして実施したため
3 中学校費補助金	—	1,486	140,448	141,934	
19 中学校施設改修事業費	教育総務課	0	140,448	140,448	国の補正予算に伴い補助金を活用し、翌年度以降の事業を前倒しして実施したため

(2) 歳出

(単位：千円)

款・項・目・細目・細々目	所管課	補正前額	補正額	補正後額	説明
10 教育費					
2 小学校費					
1 学校管理費					
2 小学校管理経費					
3 小学校施設整備事業費	教育総務課	449,069	777,961	1,227,030	国の補正予算に伴い補助金を活用し、翌年度以降に予定していた体育館の大規模改修(新規：東柏ヶ谷小、継続：有鹿小・社家小・杉久保小・今泉小・杉本小)、自動火災報知設備改修(柏ヶ谷小)を前倒しして実施したため
3 中学校費					
1 学校管理費					
2 中学校管理経費					
3 中学校施設整備事業費	教育総務課	24,927	781,200	806,127	国の補正予算に伴い補助金を活用し、翌年度以降に予定していた校舎外装改修(有馬中)、体育館の大規模改修(大谷中・今泉中)、自動火災報知設備改修(海老名中)を前倒しして実施したため

2 継続費補正（廃止）

（単位：千円）

款	項	事業名	補正前			補正後			所管課	説明
			総額	年度	年割額	総額	年度	年割額		
				令和6年度	368,576		—	—		
10	教育費	2 小学校費 小学校屋内 運動場整備 事業費	950,037	令和7年度	581,461	—	—	教育総務課	国の補正予算に伴い補助金を活用し、継続費を設定していた事業を前倒して実施したため	

3 繰越明許費補正（追加）

（単位：千円）

款	項	事業名	金額	所管課	説明
10	教育費	2 小学校費 有鹿小学校ほか5校屋内運動場大規模改修工事	1,136,108	教育総務課	補正予算計上した事業について、年度内に事業が完了しない見込みであるため、繰越明許費の設定を行いたいもの
10	教育費	2 小学校費 柏ヶ谷小学校自動火災報知設備改修工事	1,429		
10	教育費	3 中学校費 大谷中学校ほか1校屋内運動場大規模改修工事	449,433		
10	教育費	3 中学校費 有馬中学校校舎外装改修工事	322,600		
10	教育費	3 中学校費 海老名中学校自動火災報知設備改修工事	9,167		

4 債務負担行為補正（追加）

（単位：千円）

事業名	所管課	期間	限度額	説明
海老名市立小・中学校行事に係るバス借り上げ	教育支援課	令和6年度～令和7年度	2,439	海老名市立小・中学校の行事実施にあたり、翌年度以降の分を年度内に契約し、年度を跨いで実施したいため（教育総務費；小中一貫教育、防災教育）
海老名市立小学校行事に係るバス借り上げ	教育支援課	令和6年度～令和7年度	33,176	海老名市立小学校の行事実施にあたり、翌年度以降の分を年度内に契約し、年度を跨いで実施したいため（小学校費；小学校プール授業）
海老名市立中学校行事に係るバス借り上げ	教育支援課	令和6年度～令和7年度	1,584	海老名市立中学校の行事実施にあたり、翌年度以降の分を年度内に契約し、年度を跨いで実施したいため（中学校費；中学校プール授業）

5 地方債補正（変更）

（単位：千円）

事業名	所管課	限度額		説明
		補正前額	補正後額	
小学校施設整備事業	教育総務課	361,800	673,900	補正予算計上した事業について、地方債を活用するため
中学校施設整備事業	教育総務課	10,800	640,500	補正予算計上した事業について、地方債を活用するため

報告第 2 号

海老名市学校給食費に関する条例の一部改正について

海老名市学校給食費に関する条例の一部改正について、その概要を報告する。

令和7年1月24日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤 文康

報告理由

海老名市学校給食費に関する条例の一部改正を行うことについて、その概要を報告したいため